

研究機関：広島大学病院

研究課題名	HIV 陽性者の経済的背景と受診アドヒアランス
研究責任者名	広島大学病院輸血部 准教授 藤井輝久
研究期間	2021 年 10 月 4 日(倫理委員会承認後)～2022 年 3 月 31 日
対象者	2020 年 6 月 1 日～2021 年 5 月 31 日の間に、広島大学病院血液内科で HIV 疾患による治療を受けた際に、医療費助成制度である自立支援医療を使用した患者さん。
意義・目的	HIV 疾患患者は、抗 HIV 薬を服用することで健康状態が安定し、数カ月で 1 度の通院が可能となる者方が多いですが、受診行動が安定しない者も存在しています。また、抗 HIV 薬は高額であるため、多くの者方は医療費の自己負担を軽減するために、医療費助成制度である自立支援医療を使用しています。本研究では、医療費の自己負担が多いと、受診行動が不安定になるのか否か、経済的背景からその仮説を検討することを目的とします。もし、その仮説が正しければ、受診行動の不安定な患者を、他の社会的資源を利用して、今後の安定した受診行動の支援に繋げることが可能となります。さらに、本研究結果を専門学会において報告し、同じ分野の研究者たちへの認知につなげることができれば、さらに意義深いものとなると予想されます。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。 カルテから使用する内容は、年齢、受診予約日、受診日、受診回数、未受診理由、精神科受診の有無、他科同日受診歴、医療費助成制度の利用状況、受診予約状況、来院情報です。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
試料・情報の管理責任者	広島大学病院輸血部・エイズ医療対策室 准教授 藤井 輝久
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3 Tel : 082-257-5351 広島大学病院エイズ医療対策室 職名 契約病院専門職員 重信 英子